

宮古島地下水研究会

<https://miyakojima-tikasui.com/>

水道水で複数農薬検出！

子供達への健康影響の懸念

連絡先：友利直樹

電話：042-388-2678 tomorint@gmail.com

緊急リリース

2022年6月28日 16:00

私達宮古島地下水研究会は、「命の水」地下水を「知る」、「学ぶ」そして「つたえる」の理念のもと、活動しています。私たちの調査の結果、以下の緊急事態が明らかになったのでマスコミ及び市民の皆様へ報告致します。

1. 宮古島市内10か所の地下水及び水道水で、複数の化学農薬成分が微量ながら広範囲に検出されました。水道水ではネオニコチノイド系農薬クロチアニジン(商品名ダントツ)、ジノテフラン(商品名スタークル)、フェニルピラゾール系農薬フィプロニル(商品名プリンスベイト)が検出されました(図1.)。

広範囲に及ぶ地下水複合汚染が示唆されます。慢性暴露による子供達の健康影響が懸念されます。

2. 一般成人市民10人全員の尿からネオニコチノイド系農薬成分が検出されました。大多数で複数の成分が検出されました(図2. 図3.)

農薬成分の体内移行が普通に起こっていることを示しています。感受性の高い子供達への影響が懸念されます。

3. クルマエビ170万匹が全滅した高野の養殖池底部湧水及び底砂からネオニコチノイド系農薬アセタミプリド(商品名モスピラン)が検出されました(図4.)。

クルマエビ全滅の原因としてウイルス感染に加え、農薬成分による免疫能低下の関与が疑われます。子供達への健康影響の自然からの警鐘です。

図1. 地下水・農業用水・水道水中ネオニコチノイド系及びフェニルピラゾール系農薬濃度 (ng/L)

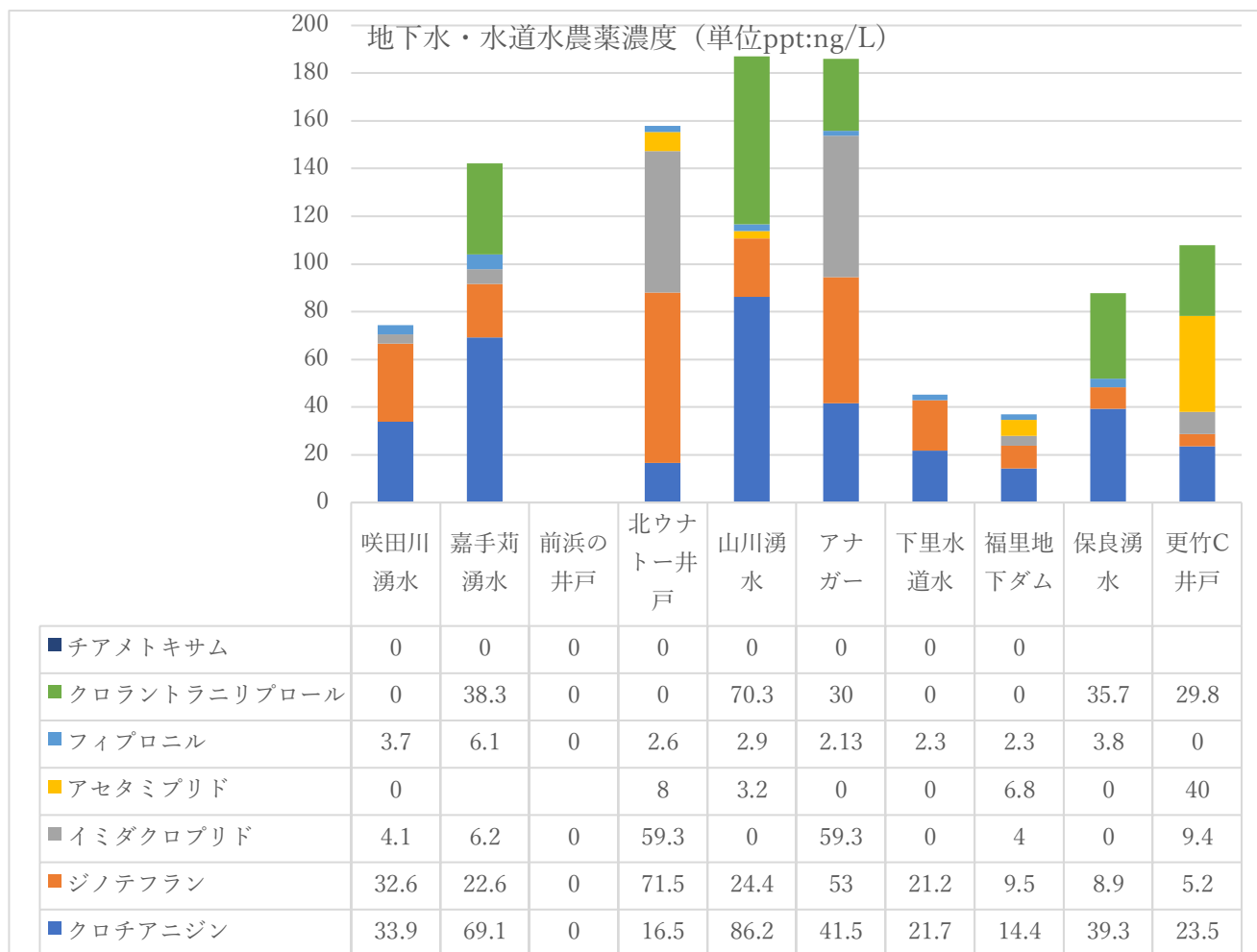


図2. 尿中ネオニコチノイド系農薬及び代謝産物濃度(クレアチニン補正值: $\mu\text{g}/\text{G}\cdot\text{Cre}.$)

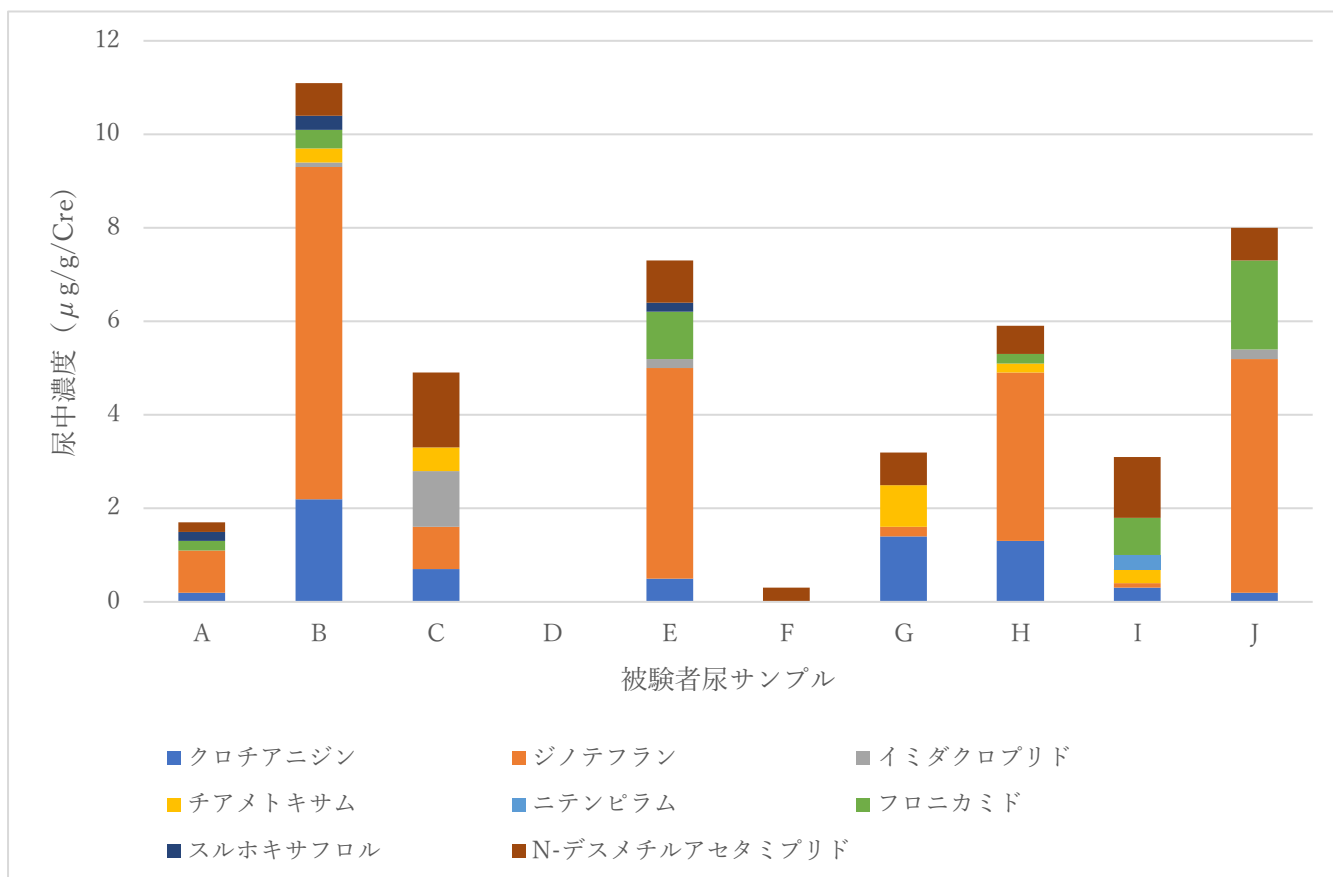


図3. 尿中ネオニコチノイド系農薬成分及び代謝産物検出率

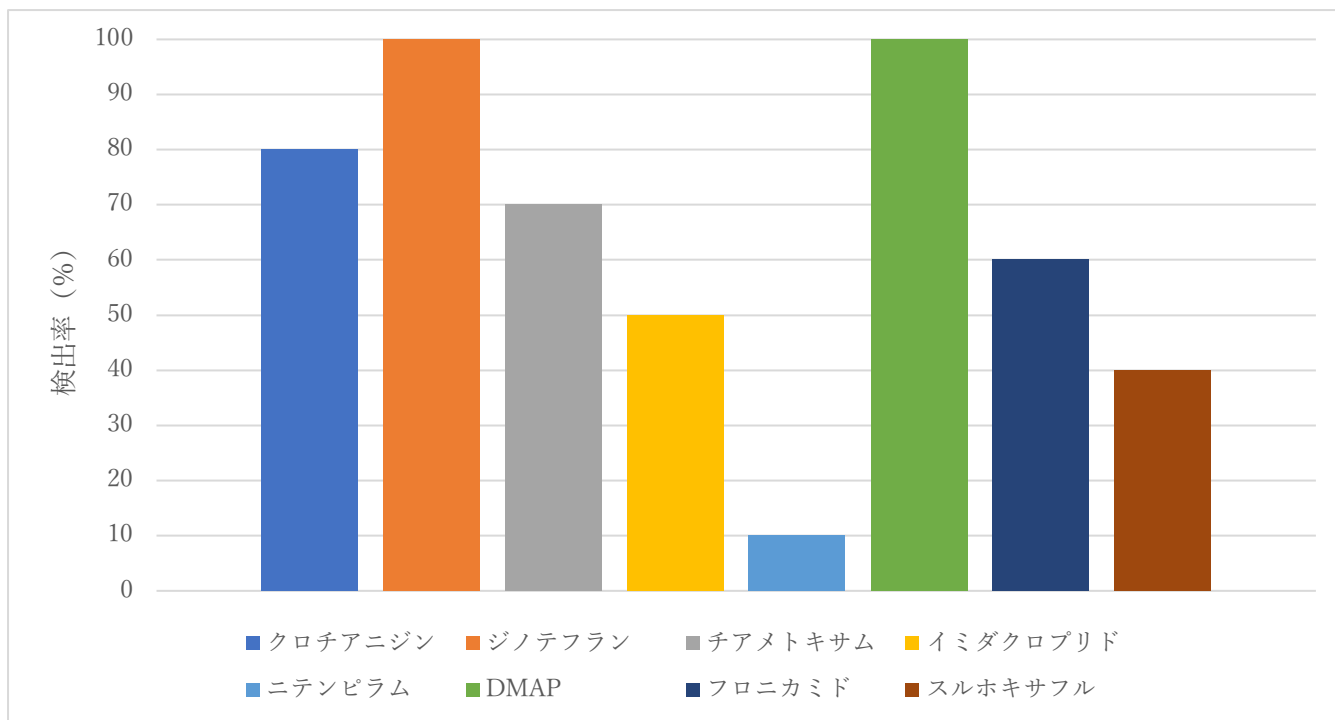


図4. 養殖場施設内ネオニコチノイド系及びフェニルピラゾール系農薬濃度 (ppt: ng/L)

